

July 20, 2005 布礼別川林道

天候が完全な晴れではないが、わずかに陽光が届く開けた場所で初めてメスアカミドリシジミが飛び出す。昨年、目の前の低い絶好の位置で頭をこちらに向けて開翅してくれ、めったにみられない青味の勝ったえもいわれぬ美しい緑の反射色を見せてくれたとき、肝心のカメラ本体を車においてきていて後悔



July 11, 2004 布礼別川林道
メスアカミドリシジミ



July 11, 2004 布礼別川林道

したのだが、今回、しっかりとデジカメもビデオカメラも携行している状況で、あのような絶好のタイミングを再現してくれそうにない。林道横を流れる布別川に沿ったブッシュ側で、ときおり2頭のオス同志が卍飛翔を展開してくれるが、カメラワークが未熟でとても映像記録を残せない。結局、その2頭を一気にネットインするしか能がない自分がなさけないが、遅すぎたかなという懸念を吹き消すような金緑色の新鮮個体であることに感謝する。

July 14, 2007 岩尾別温泉,

知床半島二湖までの観光散策の後、岩尾別温泉の露天風呂に向かい、「地の崖（はて）」というホテルの前に車をとめて露天風呂へと下りてみる。降り口からすぐの三段風呂が「案内書まっふる」に写真で紹介されているやつで、さらに奥深くにも露天風呂がある。風呂からずっと離れた下方では背の高くない木が緑濃い葉を谷風に揺らして、とつぜんそよ風にさそわれるようにゼフィルスが飛び出してきて葉っぱ上に両羽をV字型に広げて静止する。ミドリシジミの仲間だ。さいわい長くはないネットでも届く位置。すばやく走りおりて下からすくいあげてこのゼフィルスをゲット。翅表が金緑色に輝くメスアカミドリシジミの新鮮♂である。



July 14, 2000 岩尾別温泉
メスアカミドリシジミ



チョウさえいなければ露天風呂を満喫してもいいが、ゼフィルスがいる環境ではチョウを選択してしまう。先ほどの葉っぱに2頭目のゼフィルスが現れて同じ姿勢で静止し、労せずして2頭目のメスアカミドリシジミ♂を採る。これはミドリシジミ族に共通の習性で、兵庫県上月町のナラガシワ林でもヒロオビミドリシジミ♂が占有する葉っぱをみつけてそこに待機し、1箇所ですべての♂を連続して捕獲したのだが、ここ岩尾別温泉ではこのあとこの葉っぱに次々とはきてくれず。遠い位置の木々の梢部分で卍どもえと称される追飛翔を繰り返す2頭のゼフィルスをVideo記録するのが精一杯。